

シンポジウム

「障害のある人が、働き、働き続けるために」

地域社会の中で働き、暮らす。あたりまえの生活。

お給料をもらって、やりくりしながら、余暇を楽しみ、思い思いに休日を過ごす。発達障害のある人が、あたりまえの暮らしをするためには、どんな工夫が必要なのか。支援の現状はどうなっているのか。一緒に勉強しましょう。

今回は、宮城県の取り組みと、仙台市の就労支援センターのお話。先進的な取り組みをする特例子会社の事例。地元企業の取り組みの実際についてお話を伺い、皆さんと一緒に、就労を含めたあたりまえの暮らしについて考えたいと思います。

日 時：令和元年11月2日（土）

開場 13：00 開始 13：30～16：00（質疑含）

場 所：仙台市福祉プラザ 第1研修室（仙台市青葉区五橋2-12-2）

（駐車場はございませんので、一般の駐車場または、公共交通機関をご利用ください）

講 師：コーディネーター 阿部芳久氏（東北福祉大学 特任教授）

（予定）宮城県雇用対策課 担当者

仙台市障害企画課または仙台市障害者就労支援センター 担当者

地域で障害者雇用をしている企業 2社

参加費：500円（当日、受付でお支払いください）

対 象：発達障害者の就労について関心のある方

定 員：70名（当日受付、先着順）



後援（予定）宮城県・仙台市・日本発達障害ネットワーク

主催 発達支援ひろがりネット

構成団体／株式会社グッジョブ、認定NPO法人グループゆう、シエルの会、NPO法人自閉症ピアリンクセンターここねっと、株式会社団塊世代・活動センター、認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット、宮城県自閉症協会

発達支援ひろがりネットは宮城県の発達障害に関わるネットワークです。
ひろがりネットは、当事者、保護者の視点からの支援を考えます。